

取扱説明書

SORACOM
LTE-M Button Plus
LU1CK019

1. ごあいさつ

このたびは、「SORACOM LTE-M Button Plus LU1CK019」（以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に本書をお読みいただき、正しくご使用ください。

2. より詳しい説明について

より詳しい説明を以下のWEBサイトでご確認いただけます。
https://soracom.jp/products/soracom_item_button_plus

3. 本製品のご使用にあたって

- ・本製品をご使用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくご使用ください。
 - ・LTE™-M (LTE™ Cat.M1) のサービスエリア内でも電波の届かない場所（地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないことがあります。
 - ・落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・不要となった本製品はお住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指しています。
発売元：株式会社ソラコム
製造元：京セラ株式会社

4. 主な仕様

通信方式：LTE™-M (LTE™ Cat.M1)
サイズ：約97×33×14mm
重量：約50g（電池含む）
電池：アルカリ単4乾電池（2本）
動作温度：5～40℃

5. SARコンプライアンス



この端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（電波法関連省令：無線設備規則14条の2）の許容値を遵守するよう設計されています。

6. お問い合わせ

本製品やサービスに関するご質問は、株式会社ソラコムのWEBサイトからお問い合わせください。
<https://soracom.jp/contact/>

- ※ LTEは、ETSIの商標です。
- ※ その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

7. 安全上のご注意

 危険	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容が書かれています。
 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性が想定される内容が書かれています。


・高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・保管・放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

・分解・改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

・液体（水、汗、海水、ペットの尿など）が濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

・使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常を感じた場合、電池を取り外してください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- ・病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。通信機器の使用を禁止されている場所では、電池を取り外してください。電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- ・医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- ・植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ・身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、電池を取り外してください。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ・ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- | | |
|---|---|
|  注意 | 取り扱いを誤った場合、軽傷または物的損害が生じることが想定される内容が書かれています。 |
|---|---|
- ・湿気やほこりの多い場所で使用、保管しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
 - ・本製品を乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲、けが、感電などの原因となります。
 - ・ストラップを持って本端末を振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。
 - ・リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。
 - ・リアカバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。けがなどの原因となります。
 - ・リアカバーを外したまま使用しないでください。けが、感電などの原因となります。

■電池について

警告 電池を誤って飲み込まないよう、電池交換は、乳幼児の手の届かないところで行ってください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

注意 乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となります。

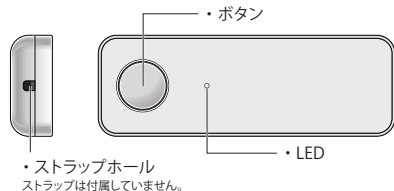
- ・保証期間内の電池をお使いください。
- ・古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- ・異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- ・プラス (+) マイナス (-) の方向を確認してください。
- ・傷ついたり破損したりした電池を使用しないでください。
- ・消耗した電池は入れたままにせず、取り外してください。
- ・長期間使用しないときは、電池を取り外してください。

8. 各部の名称



・コネクタ端子

- ※ コネクタ端子は日本圧着端子製造株式会社の「S2B-ZR-SM4A-G-TF(LF)(SN)」を使用しています。接続は同社のハウジング「ZHR-2」、コンタクト「SZH-002GA-P0.5」をご使用ください。くわしくは同社の取扱説明書をご確認の上、注意事項を守ってご使用ください。
- ※ コネクタはしっかり奥まで差し込み、抜き挿しは多く繰り返さないでください。また、接続したコネクタ部には強い力がかからないようにしてください。
- ※ コネクタに電圧を印加しないでください。コネクタには電圧がかかっており、接続機器には電圧DC3.6V / 電流1mAの耐性が必要となります。



9. 使いかた

9.1. 電源オン/オフ

本製品は電池を取り付けると自動的に電源オンします。電池を取り外すと電源オフします。

9.2. 操作

ボタンを押す、またはコネクタ端子の接点信号をCloseすると、ボタンイベント*をサーバに送信します。

*ボタンイベント：ボタンが押される、またはコネクタ端子がCloseされたことを表すデータです。

9.3. LED表示

状態に応じてLEDが点灯・点滅します。

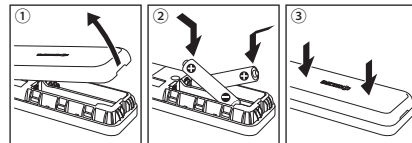
LED表示	状態
橙色点滅	ネットワーク接続試行中
橙色点灯	データ送信中
緑色点灯 (約3秒間)	データ送信成功
赤色点滅 (約5秒間)	電池残量不足
赤色点灯 (約5秒間)	データ送信エラー

※ 上記以外の点灯・点滅をしている場合は、故障の可能性がります。

9.4. 電池交換

電池交換は以下の手順で行ってください。電池はアルカリ単4乾電池をご使用ください。

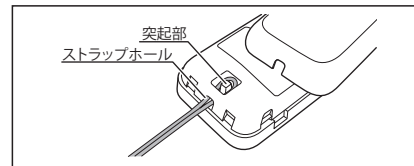
- ① リアカバーを矢印の方向に外します。
- ② 極性 (+, -) を間違えないように注意して単4乾電池を入れます。
- ③ リアカバーを元通りに取り付けます。



※ ストラップを取り付けている場合、電池交換時にストラップが外れる場合があります。また、リアカバーを取り付ける際にストラップを本体に挟み込まないようにご注意ください。

9.5. ストラップの取り付け

ストラップをストラップホールに通し、突起部にひっかけます。リアカバーを閉じるとストラップが固定されます。



5KKTCR86WFRX-
2019年4月第1版